

令和2年度事業報告書

個別事業の内容について

I [公益目的事業]

1. 手話通訳者派遣事業（公1）

手話をコミュニケーションの手段とする聴覚障害者の社会生活上の意思疎通を円滑にするために手話通訳者及び手話講師の派遣事業に取り組んだ。

(1) 手話通訳者派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、手話通訳を必要とする団体（行政・民間企業等）の申し込みを受け付け、岡山県登録手話通訳者に打診し、内定した手話通訳者を派遣した。岡山県手話通訳者登録試験に合格し手話通訳者として岡山県に登録された者を派遣登録しており、本年度は4名を登録した。

令和元年度末現在116名を登録している。

事業実施のための財源は、手話通訳依頼者からの手話通訳料を充当した。

①派遣件数（合計238件）

| | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| 4月… 3件 | 5月… 7件 | 6月… 7件 | 7月… 10件 |
| 8月… 17件 | 9月… 44件 | 10月… 24件 | 11月… 22件 |
| 12月… 19件 | 1月… 21件 | 2月… 42件 | 3月… 22件 |

②地区別派遣件数（合計238件）

| | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 赤磐… 2件 | 岡山… 184件 | 加賀… 21件 | 鏡野町… 1件 |
| 倉敷… 11件 | 瀬戸内… 5件 | 総社… 1件 | 備前… 2件 |
| 真庭… 1件 | 美咲町… 2件 | 矢掛町… 6件 | 県外… 2件 |

③内容別派遣件数（合計238件）

| | | | |
|------------|------------|-------------|---------|
| 生命・健康… 0件 | 警察・裁判… 74件 | 生活・生計… 1件 | 行政… 10件 |
| 学校・教育… 13件 | 職業・労働… 95件 | 文化・スポーツ… 2件 | |
| 会議・集会… 43件 | 聴障協活動… 0件 | その他… 0件 | |

(2) 手話講師派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、団体（行政・民間企業等）からの申し込みを受け付け、開催される手話講座や手話講義に、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が認めた手話講師を派遣し、聴覚障害者や手話に関しての理解を広げると共に、聴覚障害者の福祉向上と社会参加の促進を図った。講師登録研修を受けた者を毎年登録しており、令和2年度末現在の登録人数は81名である。

事業実施のための財源 手話講師派遣依頼者からの手話講師料を充当した。

[手話講師派遣実績]

| 依頼者 | 派遣日数 | 派遣人数 | 備考 |
|---------------------|------|------|-----------|
| 美作スポーツ医療看護学校 | 15日 | 2人 | |
| | 1日 | 2人 | |
| 専門学校岡山ビューティモード | 13日 | 2人 | |
| 専門学校ビーマックス | 24日 | 3人 | |
| 専門学校岡山ビジネスカレッジ | 1日 | 2人 | 講師団会議 |
| | 31日 | 2人 | 1年(前期・後期) |
| | 31日 | 4人 | 2年(前期・後期) |
| | 15日 | 2人 | 3年 |
| | 8日 | 3人 | 介護福祉 |
| 旭川荘厚生専門学校 | 15日 | 2人 | |
| 朝日医療大学校 | 30日 | 2人 | |
| 岡山高等歯科衛生専門学校 | 8日 | 2人 | |
| 国立吉備高原リハビリテーションセンター | 10日 | 1人 | |
| 就実高等学校 | 20日 | 2人 | |
| 岡山県警察本部 | 1日 | 2人 | |
| 岡山県退職女性教職員の会 | 1日 | 2人 | |
| 岡山県立岡山南高等学校 | 4日 | 2人 | |
| 岡山県立津山東高等学校 | 2日 | 2人 | |
| 岡山県立瀬戸南高等学校 | 16日 | 2人 | |
| 岡山市立岡山後楽館高等学校 | 1日 | 2人 | |
| 岡山市立旭操小学校 | 1日 | 2人 | |
| 瀬戸内市立邑久中学校 | 1日 | 4人 | |
| 高梁市 | 10日 | 4人 | 救急救命士 |
| | 3日 | 3人 | こども手話講座 |
| 高梁市健康福祉部福祉課 | 1日 | 2人 | |
| 井原市社会福祉協議会 | 18日 | 3人 | |
| 里庄町社会福祉協議会 | 3日 | 1人 | |
| 美作市消防本部 | 12日 | 1人 | |
| 美作ろうあ協会 | 1日 | 1人 | |
| 矢掛町中川公民館 | 1日 | 1人 | |
| 岡山市福祉交流プラザさいでん | 17日 | 2人 | |
| | 1日 | 2人 | |
| 倉敷市玉島池畝会館 | 1日 | 2人 | |

| | | | |
|----------------------|------|-----|--|
| NPO法人まちづくり推進機構岡山 | 2日 | 2人 | |
| NPO法人ARTダンスパフォーマンス協会 | 1日 | 2人 | |
| 合計 | 320日 | 75人 | |

2. 機関紙一般購読事業（公2）

聴覚障害者の情報不足を補うために、聴覚障害者福祉に関わる情報を提供するとともに、社会に対して聴覚障害者についての理解と啓発を促すため、次の事業を実施した。

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より共同募金配分金を受けて機関紙一般購読事業を行っている。機関紙は岡山県内の聴覚障害者、賛助会員、手話サークル会員などの手話関係者、購読を希望する一般の方々及び関係機関・団体等へ月1回定期的に発行した。（発行部数521部・年間購読料2,500円）

なお、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の会員には所定の年会費（年間購読料込）を徴収し配布した。機関紙では、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の活動報告だけでなく、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会や関係団体等の行事の案内や、災害情報や障害者に関する法律等の情報、全国の聴覚障害に関する様々な情報発信を行った。

事業実施のための財源は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より受けている「共同募金配分金」と機関紙購読料を充当した。

3. 聴覚障害者のパソコン利用促進事業（公3）

聴覚障害者のパソコン利用に対するサポートや指導を行い、ITに関する知識を高め、社会への聴覚障害者参加の一層の促進を図るために、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」を受託し、「聴覚障害者のパソコン利用促進事業」を実施していたが、平成28年度から委託が終了したため、令和2年度は事業を休止した。

（1）パソコンボランティア養成・派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコンボランティア養成・派遣事業」を受託し、以下の事業を行っていたが、受託が得られなくなったため、事業を休止した。

事業実施のための財源は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当していたが、平成28年度より委託が終了したため、令和2年度は事業を休止した。

（2）パソコン利用促進事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合

会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコン利用促進事業」を受託し、以下の事業を行っていたが、委託が終了したため、令和2年度は事業を休止した。

事業実施のための財源は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当していたが、平成28年度より委託が終了したため、令和2年度は事業を休止した。

4. 福祉まつり事業（公4）

聴覚障害者、手話関係者、一般県民が交流を深め、聴覚障害者に対する正しい理解を広めること及び聴覚障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的として次の事業を実施した。

「県民ふれあい手話まつり」事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、岡山県より「岡山県障害児（者）社会参加促進事業費補助金」の助成を受けて、岡山市で「県民ふれあい手話まつり」を開催した。

この事業は各支部（岡山支部・倉敷支部・玉野支部・東備支部・笠岡支部・浅口支部・井原支部・美作支部）が持ち回りで順番に実施しており、令和2年度は倉敷支部が担当する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で早々に中止した。代わりに県聴障協本部直轄で万全なコロナウイルス感染防止対策を講じたうえで規模を縮小し実施した。

手話まつりの対象者は聴覚障害者だけでなく、地域の人を含め誰でも参加することができることとし、入場料や参加費は無料で行った。

手話まつりは岡山県下の聴覚障害者、手話サークル会員等の関係者及び地域の一般の方々が一堂に会し、講演会等によって聴覚障害者に関わる諸問題について学び、お互いの交流を深め、広げていくことができた。開催場所は浅口市健康福祉センター（公共施設）を利用した。参加人数は100名であった。令和2年度に実施された「県民ふれあい手話まつり」は以下の通りである。

令和2年11月15日（日）、きらめきプラザにおいて、「第36回県民ふれあい手話まつり」を開催した。午前10時から開会式典を行い、その後、映画「名もなく貧しく美しく」の上映会及び別フロアにおいて関係団体による作品展示やフリーマーケットが行われた。

協会の機関紙やホームページなどを通して広く一般に呼びかけ、聴覚障害者、手話サークル会員などの関係者のほか、岡山市内の地域の方々も来場され、地域交流にふさわしい場となり、地域の一般の方々に聴覚障害者についての理解を広める良い機会となった。

事業実施のための財源は、岡山県障害児（者）社会参加促進事業費補助金の助成金等を充当した。

5. 研修会事業（公5）

聴覚障害者自身の社会参加のための啓発又、聴覚障害者の福利厚生の実現を図るために、研修会事業を実施した。

（1）ろう高齢者の集い事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より共同募金配分金を受けてろう高齢者の集い事業を実施した。

岡山県内のろう高齢者（高齢聴覚障害者）を中心に情報交換や意見交換、生活防衛のための知識習得等を行い、孤独になりがちなろう高齢者に仲間と交流する場を提供することで、ろう高齢者が充実した生活を送れるよう支援した。

対象者はろう高齢者（高齢聴覚障害者）を中心とした聴覚障害者やその家族、手話関係者等である。令和2年度に実施した「ろう高齢者の集い」事業の概要は次のとおりである。

令和2年10月25日（日）、「第16回岡山県ろう高齢者のつどい」をきらめきプラザ7階701会議室で開催した。午後1時30分から4グループに分かれて情報交換会を行った。

情報交換会は今後の活動の参考になり、有意義な研修会となった。参加は協会の機関紙やホームページで一般に呼びかけ、各支部を通して協会会員外のろう高齢者（高齢聴覚障害者）にも呼びかけを行った。当日は、ろう高齢者を中心に、手話サークルの方々や家族の方など、35名が参加した。

事業実施のための財源は、共同募金配分金（社会福祉法人岡山県共同募金会）を充当した。

（2）聴覚障害者フォーラム事業

毎年、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」から共同募金配分金を受けて聴覚障害者の啓発を目的として聴覚障害者フォーラム事業を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

事業実施のための財源は、共同募金配分金（社会福祉法人岡山県共同募金会）等を充当している。

（3）聴覚障害者地域支援センター「ともろう・はうす」事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、会員からの寄付金及び指定正味財産を充当し、聴覚障害者地域支援センター事業「ともろう・はうす」を運営し事業を実施した。

「ともろう・はうす」は、聴覚障害者の様々な相談に応じると共に、日常生活に必要な情報提供を行い、生活向上のための学習、調理実習、社会見学等交流の場を提供し、地域で豊かな暮らしと聴覚障害者の社会参加の促進に努めた。

平成28年7月3日に正式開所し、「ともろう・はうす」の運営を開始した。開所当初は、週1回（月曜日）、現在は週2回（月曜日、土曜日）に運営した。

利用者は、聴覚障害者476名、健聴者320名、合計796名となった。

倉敷市内の協会会員を中心に活動し、岡山県内の聴覚障害者、手話関係者などが集い、バーベキュー、クリスマス交流会等を実施し、交流を深めた。また、参加者が得意とする作品作りを行った。参加者は協会の機関紙やホームページで一般に呼びかけ、各支部を通して協会会員外の聴覚障害者にも呼びかけを行った。

事業実施のための財源は、会員からの寄付金及び指定正味財産を充当した。

6. 映画上映事業（公6）

聴覚障害者についての理解や啓発と手話の普及を図るために事業を実施しているものの、令和2年度は上映を希望する団体がなかったため、実施していない。

7. 岡山県聴覚障害者センター管理運営事業（公7）

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、聴覚障害者の社会参加と自立促進のため、独自事業として手話通訳者の養成・派遣を中心に取り組んでおり、それをさらに拡充するために岡山県聴覚障害者センターの指定管理を受け、効率的に各事業を実施した。岡山県と公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会とは岡山県聴覚障害者センターの管理に関する包括協定書及び年度協定書を結び、以下の事業を行った。なお、管理運営にあたっては、岡山県聴覚障害者センター運営会議において聴覚障害者の視点を生かすことを努めた。

（1）手話通訳者養成事業

1. 目的

手話で特定の聴覚障害者と日常会話が可能な者に、身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務、手話通訳に必要な語彙や手話通訳表現技術等の指導を行うことにより、手話通訳者を養成し、聴覚障害者等の福祉の増進を図る。

2. 対象

聴覚障害者等の福祉に理解と熱意を有し、手話で特定の聴覚障害者と日常会話が可能な程度の者を対象に公募した。

3. 方法

厚生労働省通知の「手話奉仕員及び手話通訳者の養成カリキュラム」に則り、「基本課程」2講座（42時間）「応用課程」（42時間）「実践課程」（24時間）の3課程を設けた。身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務を理解させ、手話通訳に必要な手話語彙や手話通訳表現技術等の指導を行った。

4. 令和2年度実績

①手話通訳者養成講座の開催

| 講座 | 回数 | 受講者数 | 修了者数 | 開催地 |
|-------|----|------|------|-----|
| 基本課程Ⅰ | 17 | 24名 | 20名 | 岡山市 |
| 基本課程Ⅱ | 28 | 8名 | 7名 | 津山市 |
| 応用課程Ⅰ | 17 | 22名 | 15名 | 岡山市 |
| 応用課程Ⅱ | 28 | 21名 | 20名 | 倉敷市 |
| 実践課程 | 12 | 8名 | 8名 | 岡山市 |

②手話講座指導者の養成のための講座への派遣

- ・手話通訳者養成担当講師ブロック研修会 2名派遣

③全国統一試験（岡山県登録試験）の実施

| 実施日 | 受講者数 | 合格者数・率 | 実施場所 |
|--------------|--------|---------------|------------------|
| 令和2年12月5日（土） | 35名 | 3名 8.6% | 岡山県 聴覚障害者センター |
| ※全国状況 | 1,348名 | 282名 20.9% | |

岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県手話通訳問題研究会及び岡山県手話通訳士協会の協力を得て実施委員会を設置し実施した。合格者について本人の承諾を得て岡山県認定手話通訳者として3名登録した。

④県登録手話通訳者を対象として頸肩腕症候群健康診断を実施した。

- ・対象：岡山県登録手話通訳者
- ・医師：玉島協同病院 道端達也医師
- ・健診：一次健診 問診票による健診 116名中 107名受診
二次健診 医師による健診 27名中 2名受診

(2) 手話通訳士養成研修事業

1. 目的

裁判員制度の発足、政見放送への手話通訳導入の拡大などにより、手話通訳者により高い専門性を持った人材の確保が求められており、登録手話通訳者を対象とした研修を行い、手話通訳士を養成するとともに手話通訳士を対象とした現任研修を実施する。

2. 研修対象者及び実施方法

| 研修名 | 対象者 | 実施方法 |
|-----------|---------|---|
| 手話通訳士養成研修 | 登録手話通訳者 | 登録手話通訳者が手話通訳士の資格取得に向けた知識・技能の習得を図るため研修を実施した。 |
| 手話通訳士現任研修 | 手話通訳士 | 手話通訳士の知識・技能の向上を図るため、現任研修を実施した。 |
| 指導者養成研修 | 講師予定者 | 手話通訳士養成研修の講師を確保するため、全国手話研修センター（京都市）が実施する講師研修会へ講師予定者を派遣した。 |

3. 令和2年度実績

①【手話通訳士養成研修】

| 実施期間 | 回数 | 受講者数 | 修了者数 | 実施場所 |
|------------------------|----|------|------|--------------|
| 令和2年7月12日 ～令和3年2月7日 | 9 | 13名 | 12名 | 岡山県聴覚障害者センター |

②【手話通訳士現任研修】

| 実施期間 | 回数 | 受講者数 | 修了者数 | 実施場所 |
|------------------------|----|------|------|--------------|
| 令和2年7月25日 ～令和3年3月6日 | 7 | 23名 | 11名 | 岡山県聴覚障害者センター |

③【指導者養成研修】

| 実施期間 | 回数 | 受講者数 | 修了者数 | 実施場所 |
|----------|----|------|------|--------------|
| 令和3年3月6日 | 1 | 17名 | 17名 | 岡山県聴覚障害者センター |

④【手話通訳士緊急確保対策事業派遣】

- ・合格率向上対策講座
令和2年度は中止
- ・合格者フォローアップオンライン講座

| 期間 | 人数 | 主催 |
|-----------------------|----|---------------|
| 令和2年10月31日～令和2年11月1日 | 1人 | 聴力障害者情報文化センター |
| 令和2年12月19日～令和2年12月20日 | 1人 | |
| 令和3年1月16日～令和3年1月17日 | 1人 | |
| 令和3年2月6日～令和3年2月7日 | 1人 | |

5. 手話通訳技能認定試験（全国手話通訳士試験）

令和2年度は中止

6. その他

実施方法については、岡山県聴覚障害者センター、岡山県聴覚障害者福祉協会及び岡山県手話通訳士協会が事業実施のための委員会を設立して決定した。

(3) 要約筆記養成事業

1. 目的

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者に対して、手話取得の困難な中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの手段としての要約筆記の指導を行うことにより、高い専門性をもった要約筆記者の養成を行う。

2. 要約筆記者養成講座

| 実施期間 | 回数 | 受講者数 | 修了者数 | 登録者 | 実施場所 |
|---------------------------|----|------|------|-----|--------------|
| 令和2年 6月 7日～ 令和2年12月13日 | 18 | 30名 | 23名 | 6名 | 岡山県聴覚障害者センター |

3. 全国統一要約筆記者認定試験（要約筆記者登録試験）

| 実施日 | 受講者数 | 合格者数 | 合格率 |
|--------------|------|------|-------|
| 令和3年2月21日（日） | 29名 | 6名 | 20.7% |
| ※ 全国の状況 | 697名 | 259名 | 37.2% |

4. 要約筆記者指導者養成研修への派遣

（基礎研修コース）

| | 実施期間 | 参加者数 | 実施場所 |
|---|-----------------------|------|------------|
| 1 | 令和2年10月14日～令和2年10月16日 | 2名 | 自宅でのリモート受講 |
| 2 | 令和2年11月27日～令和2年11月29日 | 2名 | 自宅でのリモート受講 |
| 3 | 令和3年 1月16日～令和3年 1月18日 | 2名 | 自宅でのリモート受講 |

(4) 手話通訳者設置事業

1. 目的

身体障害者の福祉に理解と熱意を有する手話通訳者を設置し、聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者（以下「聴覚障害者等」という）の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションの円滑化を推進し、聴覚障害者等の福祉の増進を図る。

2. 内容

センターに手話通訳者3名を配置

3. 主な業務

- ① 病気や交通事故など緊急時の手話通訳業務
- ② きらめきプラザ内での手話通訳業務
- ③ ろう者団体の要請による手話通訳業務
- ④ 聴覚障害者の生活相談業務
- ⑤ 市町村手話通訳者派遣及び各種団体手話通訳者派遣のコーディネート業務
- ⑥ その他

(5) 意思疎通支援者派遣連絡調整事業（連絡調整）

1. 目的

意思疎通支援を行う者の派遣に係る市町村相互間の連絡調整等広域的な対応を行い、聴覚障害者の福祉増進を図る。

2. 対象 市町村

3. 令和2年度実績（年間派遣数）

| 派遣内容 | 派遣件数 | 派遣人数 |
|---------|------|------|
| 広域派遣 | 264件 | 273人 |
| 同一市町村派遣 | 88件 | 91人 |

(6) 意思疎通支援者派遣連絡調整事業（派遣）

1. 目的

専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 年間派遣数

| 団体名 | 手話通訳派遣 | | 要約筆記派遣 | |
|--------------|--------|-----|--------|-----|
| | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 |
| 岡山県聴覚障害者福祉協会 | 13件 | 29人 | 0件 | 0人 |
| 岡山県難聴者協会 | 0件 | 0人 | 16件 | 47人 |
| その他の団体 | 1件 | 2人 | 0件 | 0人 |

3. 団体別派遣数

【岡山県聴覚障害者福祉協会】（手話通訳者）

| | 開催年月日 | 会議・催事名 | 人数 |
|---|--------------|----------------------|----|
| 1 | 令和2年 6月 21日 | 岡山県聴覚障害者福祉協会社員総会 | 3人 |
| 2 | 令和2年 8月 29日 | センター15周年記念事業第1回実行委員会 | 2人 |
| 3 | 令和2年 10月 17日 | 聴覚障害者災害対策本部会議 | 2人 |

| | | | |
|----|------------|-------------------------|----|
| 4 | 令和2年10月21日 | センター15周年記念事業第2回実行委員会 | 2人 |
| 5 | 令和2年11月15日 | 県民ふれあい手話まつり開会 | 2人 |
| 6 | 令和2年11月15日 | 県民ふれあい手話まつり閉会 | 2人 |
| 7 | 令和2年11月25日 | 新しいスポーツ「ボッチャ」講座 | 2人 |
| 8 | 令和2年11月30日 | 閑谷学校講堂学習史跡見学 | 2人 |
| 9 | 令和2年12月26日 | センター15周年記念事業第3回実行委員会 | 2人 |
| 10 | 令和3年2月21日 | 令和2年度幹部研修会 | 3人 |
| 11 | 令和3年2月24日 | 身体障害者福祉連合会女性部令和2年度役員研修会 | 2人 |
| 12 | 令和3年3月7日 | 聴覚障害者災害対策本部会議 | 3人 |
| 13 | 令和3年3月7日 | センター15周年記念事業第4回実行委員会 | 2人 |

【岡山県難聴者協会】（要約筆記者）

| | 開催年月日 | 会議・催事名 | 人数 |
|----|------------|----------------------|----|
| 1 | 令和2年7月5日 | 事業運営会議 | 3人 |
| 2 | 令和2年8月2日 | 事業運営委員会 | 3人 |
| 3 | 令和2年8月19日 | 岡山県との意見交換会 | 2人 |
| 4 | 令和2年8月29日 | センター15周年記念事業第1回実行委員会 | 3人 |
| 5 | 令和2年9月13日 | 臨時理事会 | 3人 |
| 6 | 令和2年9月27日 | 食育教室 | 3人 |
| 7 | 令和2年10月17日 | 聴覚障害者災害対策本部会議 | 3人 |
| 8 | 令和2年10月31日 | センター15周年記念事業第2回実行委員会 | 3人 |
| 9 | 令和2年11月15日 | 臨時総会 | 3人 |
| 10 | 令和2年11月22日 | 食育教室 | 3人 |
| 11 | 令和2年12月26日 | センター15周年記念事業第3回実行委員会 | 2人 |
| 12 | 令和3年2月7日 | 事業運営会議 | 4人 |
| 13 | 令和3年2月10日 | 事務局会議 | 2人 |
| 14 | 令和3年3月7日 | 聴覚障害者災害対策本部会議 | 3人 |
| 15 | 令和3年3月7日 | センター15周年記念事業第4回実行委員会 | 3人 |
| 16 | 令和3年3月14日 | 理事会 | 4人 |

【その他の団体】（手話通訳者・要約筆記者）

| | 開催年月日 | 会議・催事名 | 人数 |
|---|----------|--------|----|
| 1 | 令和3年2月7日 | 事業運営会議 | 2 |

(7) 自立支援拠点活動支援事業

1. 目的

難聴者、ろうあ者等の聴覚障害者の福祉増進並びに自立支援を行う拠点として設置されている聴覚障害者センターが中心となって、各種講習会等の事業を行い、生活文化の向上、社会参加の促進を図る。

2. 対象 聴覚障害者（ろう者、中途失聴者、難聴者）

3. 方法 県内広範に会場を設け、講習会や講座等を実施した。

4. 自立支援拠点活動支援のための講座

| 対象者 | 回数 | 参加者数 |
|-----------|-----|------|
| ろう者 | 11回 | 183人 |
| 中途失聴者・難聴者 | 14回 | 197人 |

5. 自立支援拠点活動支援のための講座（内訳）

【ろうあ者対象の講演会等】

| | 開催月日 | 講座等名称 | 参加者数 | 開催場所 |
|----|--------------|----------------|------|------|
| 1 | 令和2年 7月 19日 | 活きたお金の使い方・残し方 | 19人 | 岡山市 |
| 2 | 令和2年 9月 6日 | 運転免許特定任意講習会 | 2人 | 岡山市 |
| 3 | 令和2年 9月 7日 | 運転免許特定任意講習会 | 2人 | 岡山市 |
| 4 | 令和2年 9月 20日 | 新型コロナに備えての学習会 | 33人 | 岡山市 |
| 5 | 令和2年 10月 25日 | 高齢者の脱水症 | 40人 | 岡山市 |
| 6 | 令和2年 11月 22日 | マイナンバーについて | 25人 | 倉敷市 |
| 7 | 令和2年 12月 13日 | 運転免許特定任意講習会 | 1人 | 岡山市 |
| 8 | 令和2年 12月 14日 | 運転免許特定任意講習会 | 3人 | 岡山市 |
| 9 | 令和3年 1月 17日 | 講演会「補聴器について」 | 24人 | 岡山市 |
| 10 | 令和3年 3月 3日 | 新聞作りを学ぼう | 7人 | 岡山市 |
| 11 | 令和3年 3月 15日 | 講演会「終活について学ぼう」 | 27人 | 岡山市 |

【中途失聴者・難聴者対象の講習会等】

| | 開催月日 | 内容 | 人数 | 会場 |
|---|-------------|----------------|------|-----|
| 1 | 月1回程度 | 難聴者のための手話教室 | 139人 | 岡山市 |
| 2 | 令和2年 12月 5日 | 「聞こえ」の相談会（県難協） | 16人 | 里庄町 |
| 3 | 令和3年 1月 7日 | 遠隔情報保障講習会（県難協） | 42人 | 倉敷市 |

(8) 手話入り映像ライブラリー等貸出事業

1. 目的

映像等に手話、字幕を挿入したビデオ（DVD）の貸出を行うことにより、聴覚障害者に対する情報提供に資する。

2. 年間の貸出状況

| 貸出内容 | 利用者数 | 本数 |
|----------------------|------|------|
| 映像ライブラリー（手話、字幕付き）の貸出 | 84人 | 246本 |
| 手話学習ビデオ・書籍の貸出 | 150人 | 288本 |

3. ビデオ等保有状況

- ・VHS 3, 232本（令和2年受け入れ状況・・・△499本）
- ・DVD 770本（令和2年受け入れ状況・・・30本）

(9) 聴覚障害者コミュニケーション機器貸出事業

1. 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助努力を助長するため、地域における各種大会行事等に聴覚障害者コミュニケーション機器を貸し出すことにより、聴覚障害者に対する理解と地域ボランティアの拡充を図り、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 年間の利用状況

- ・利用者件数 437件 99人
（電源タップ・映像ケーブル・プロジェクター・パソコン・AVセット等）

(10) 聴覚障害者関係地域ボランティア研修事業

1. 目的

手話・要約筆記に係る地域ボランティアの養成及び活動の活性化を進めるために、手話通訳者及び要約筆記者に対し研修を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 研修会

| | 年月日 | 内容 | 対象 |
|---|------------------|--|-------------------|
| ① | 令和2年 6月28日(日) | ◇講演「手話通訳者の健康について」 講師 玉島共同病院 道端 達也 氏 | 手話通訳者 ※参加者 73名 |
| ② | 令和2年 9月13日(日) | ◇講演「寄り添って聞く」 講師 社会福祉法人岡山いのちの電話協会 事務局次長 草苺 祐子 氏 | 手話通訳者 ※参加者 43名 |
| ③ | 令和3年 2月14日(日) | ◇事例検討 ◇事例研究（報告書から手話通訳のあり方を考える） | 要約筆記者 ※参加者 65名 |
| ④ | 令和3年 2月27日(土) | ◇講演「難聴とともに歩む」 講師 岡山県難聴者協会 中上 道代 氏 宮永 照代 氏 | 要約筆記者 ※参加者 41名 |

(1 1) 災害救援専門ボランティア研修事業

1. 目的

県が登録している災害救援専門ボランティア（手話通訳及び要約筆記者等の分野）に係る専門的な技術のレベルアップやボランティア意識の向上を図る。

2. 研修会

| | 年 月 日 | 内 容 | 参加者 |
|---|---|-------------------------------------|-------|
| ① | 令和 2 年 7 月 19 日 (日) | ◇講演「災害に備えて」 講師 元岡山市消防局審議監 谷合 守 氏 | 8 3 名 |
| ② | 令和 2 年 11 月 8 日 (日) 11 月 16 日 (月) | ◇講演 救急救命講習 講師 井上 彰吾 氏 | 9 2 名 |

(1 2) 聴覚障害者の相談業務

1. 目的

聴覚障害者及びその家族等の相談に応じ、必要な助言・情報提供・適切な専門機関への紹介等を行う。

2. 年間相談件数（ろう者・難聴者・親族・健聴者 等）

相談件数 305 件 相談者数 323 人

(1 3) 聴覚障害者用の自主制作映画等の制作

1. 目的

聴覚障害者に対する情報提供に資するため、自主制作映画等を作成し、福祉の増進を図る。

2. 自主ビデオの作成

◇制作ビデオ

| | 制作ビデオのタイトル | 経 過 |
|---|-------------------------------|--------|
| ① | 動画ブログ「ハマちゃん手話」 | 10 話掲載 |
| ② | 備前焼の狛犬を巡る | 完 成 |
| ③ | 消費者教育動画「消費者問題ってなあ〜に？」 | 完 成 |
| ④ | 人名の付いた珍しい駅を巡る「方谷駅」 | 完 成 |
| ⑤ | 文化講演会「岡山城下町の文化サロン—豪商河本家を中心に—」 | 制作中 |
| ⑥ | 消費者教育動画「インターネットショッピングについて知ろう」 | 完 成 |
| ⑦ | 人名の付いた珍しい駅を巡る「宮本武蔵駅・吉備真備駅」 | 完 成 |
| ⑧ | 地方の手話 岡山県 | 制作中 |

◇字幕挿入ビデオ

| | 制作ビデオのタイトル | 経過 |
|---|------------|----|
| ① | 加茂大祭 | 完成 |
| ② | 古川八幡宮 当番祭 | 完成 |
| ③ | 布施神社 お田植祭 | 完成 |

* 自主制作ビデオ等の保有状況 DVD 170、VHS 13

(14) その他の事業

聴覚障害者センターの管理に関する年度協定に規定する「その他聴覚障害者の福祉の向上のための事業」であり、センター独自に企画した事業。

1. 広報活動の充実

(1) 目的

広報誌「センターだより」の発行と公式サイト（ホームページ）の公開により、聴覚障害者に様々な情報を提供するとともに、好機に広報媒体に情報発信し、センターの周知と利用促進を図る。

(2) 広報誌「センターだより」の発行

- ① 第60号発行・郵送配布・・・6月
- ② 第61号発行・郵送配布・・・9月
- ③ 第62号発行・郵送配布・・・12月
- ④ 第63号発行・郵送配布・・・3月

(3) ホームページの公開

| 項目 | 内 容 | |
|-----------------|--|---------------------------------|
| 最終更新日 | 令和3年4月1日(通常週2回更新) | |
| アクセス数 令和3年3月 | TOPページ | 1,256(累計 39,938)(平成29年4月1日～集計) |
| | Youtube | 7,835(累計 335,714)(平成29年4月1日～集計) |
| ホームページ掲載内容 | [MENU] TOP、ご案内(概要・沿革、施設・交通案内、各部屋紹介、センター運営、センター事業、センターだより)、映画・動画(字幕付き映画、手話語り、デジタル岡山大百科)、貸出・予約(利用登録について、ビデオ、DVD、コミュニケーション機器、生活応援グッズ、研修室・会議室)、通訳派遣、各種講座(聴覚障害者のための講座、難聴者のための手話教室、手話通訳・要約筆記講座)、その他(更新情報、FAQ・よくある質問、お問合せ、リンク、サイトマップ) | |

2. 手話通訳者派遣のコーディネート

(1) 目的

聴覚障害者に対する情報保障を推進するため、各種団体の要請を受け、県下全域

にわたって手話通訳者派遣のコーディネートを行う。

(2) 年間団体派遣数 177件 291人

3. お昼休みのミニ手話教室

(1) 目的

きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員を対象に、簡単な手話の講習を継続的に行い、館内のコミュニケーション・バリアフリー化を進め、聴覚障害者の福祉増進を図る。

(2) 内容

- ① 対象者 : きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員
- ② 開催状況 : 月2回 (第1, 第3木曜日)
開催回数 21回、参加者数 137名
- ③ 開催場所 : きらめきプラザ

4. みんながきらめく手話の会

(1) 目的

手話の講座を修了した人を対象に、手話を介して交流や学習をすることにより、手話によるコミュニケーション能力を高めるとともに、高いレベルの手話を学びたいという意欲を育てる。

(2) 内容

- ① 対象者 : 手話に興味がある人
- ② 開催状況 : 毎週木曜日 (開催回数 41回、参加者数 445人)
- ③ 開催内容 : 手話を介した交流・学習会

5. 「しゅわ」の集い

(1) 目的

登録手話奉仕員を対象に研修を行い、奉仕員としてより手話に親しむとともに、ボランティアとして活動する意欲を高める。

(2) 開催状況 (開催回数 5回、参加者数 36人)

6. 手話通訳者の集い

(1) 目的

登録手話通訳者 (登録後6年以内) を対象に研修を行い、通訳者としてより一層の手話技術の向上と通訳者として活動する意欲を高める。

(2) 開催状況 (開催回数 8回、参加者数 69人)

7. のびのび子どもひろば

(1) 目的

聴覚障害児と聞こえる子どもたちが一緒に活動する中で、聴覚障害について理解を深めるとともに楽しむことのできる場を設ける。

- ① 開催日：令和2年8月7日（金）
- ② 参加者：39人 内訳 子ども 18名（うち障害者 11名）
おとな 21名（うち障害者 12名）
- ③ 内 容：マジック、絵本よみきかせ、工作（星の万華鏡）、こままわし

8. 災害対策本部

(1) 目的

- ① 災害発生時に災害に関する情報収集を行う。
- ② 災害発生時に聴覚障害者への救援支援活動等対応策を検討する。
- ③ 災害に備え、聴覚障害者の防災意識や災害対応能力の向上を図る。

(2) 災害対策本部の活動内容

| 項 目 | 内 容 |
|---------|---|
| (1) 構 成 | 1 設 立 平成20年4月「岡山県聴覚障害者災害対策本部」を設立 2 構成団体 ① 岡山県聴覚障害者福祉協会 ② 岡山県難聴者協会 ③ 岡山県手話通訳問題研究会 ④ 岡山県要約筆記団体連絡会 ⑤ 岡山県聴覚障害者センター |
| (2) 目 的 | 1 県内で緊急災害が発生した際、情報収集、支援活動の検討を行う。 2 緊急災害の発生に備え、聴覚障害者の防災意識と災害対応能力の向上を図る。 |
| (3) 活 動 | ◇第1回会議 令和2年10月17日（土） 講師 岡山県釈迦福祉協議会 木村 真悟 氏 ◇第2回会議（研修会）・・・災害救援専門ボランティア研修会と共催 ◇第3回会議 令和3年3月7日（日）10：00～ コロナ感染症対策等 |

9. ろう高齢者交流会

(1) 目的

日ごろ、人との交流が少ない高齢聴覚障害者が同じ障害の友人や青年、女性と楽しい一時を持つ機会を提供する。

(2) 活動の概要

- ① 開催日時：令和2年12月20日（日）

- ② 開催場所：きらめきプラザ 401 会議室
- ③ 内 容：講演「防災に対する講演と避難所体験」
講師 岡山県備前県民局地域づくり推進課 参事 和田 章 氏
- ④ 助 成：梶谷福祉基金
- ⑤ 参加者：36名

10. 中期目標の評価と見直し

(1) 目的

センターの各種事業の成果については、平成28年度に策定した第2期中期計画において設定した新たな評価指標に基づく事業評価を実施する。評価結果については、センター運営委員会、運営会議に報告し、外部評価も併せて行う。

なお、本計画は平成29年度から5ヵ年間の行動計画であるが、国の制度改正に伴い事業内容や財源に変更が生じた場合は、随時、見直しを行う。

(2) 平成31年度事業評価

(ア) 総合評価・・・2.8

(イ) 公表方法

- ◇第1回センター指定管理者運営委員会（令和2年5月24日（日）開催）
- ◇センター運営会議（令和3年3月14日（日）開催）
- ◇センターホームページ

(3) 中期目標の見直し

中期目標に基づき事業評価を行い、実績を検証し次期中期目標の策定に生かす。

11. 学校教育との連携

(1) 目的

県内の小中学生等を対象に、総合的な学習の時間等を活用して、聴覚障害者センターで聴覚障害者に対する理解を深めるため、体験学習を行う。

(2) 実施状況

| | 年月日 | 学 校 名 | 参加者数 | 備 考 |
|---|-----------------|--------------|------|------|
| 1 | 令和2年10月 7日, 9日 | 岡山県立岡山聾学校 | 2 | 職場体験 |
| 2 | 令和2年10月16日 | 岡山県立岡山聾学校 | 9 | 校外学習 |
| 3 | 令和2年11月 9日~13日 | 岡山市立伊島小学校 | 159 | 体験学習 |
| 4 | 令和2年11月22日, 25日 | 岡山市立香和中学校 | 79 | 体験学習 |
| 5 | 令和2年12月11日 | 岡山県立岡山聾学校 | 4 | 体験学習 |
| 6 | 令和2年12月18日 | 岡山市立岡山後楽館中学校 | 27 | 体験学習 |

1 2. 関係機関や地域社会との連携

(1) 目的

聴覚センター単独での事業運営には限界があるため、地域社会や他の公共施設、団体との相互連携活動を推進し、事業内容の充実と多様化を図る。また、文化講演会などの開催を検討する。

(2) 関係機関や地域社会との連携状況

| | 年月日 | 連携団体名 | 連携事業内容 |
|---|------------|--------------|------------------|
| 1 | 令和2年 5月13日 | 岡山県消費生活センター | 消費者教育動画制作 |
| 2 | 令和2年 7月 3日 | 全国消費生活相談員協会 | 消費者教育・相談支援 |
| 3 | 令和2年 7月11日 | 岡山県障害者スポーツ協会 | 手話指導 |
| 4 | 令和2年 7月13日 | 岡山県消費生活センター | 相談員研修会講師 |
| 5 | 令和2年10月 9日 | 全国消費生活相談員協会 | 消費者教育・相談支援 |
| 6 | 令和2年11月19日 | 岡山県立岡山聾学校 | テーマ研究キャリア教育部会研修会 |
| 7 | 令和3年 1月17日 | 倉敷市障がい福祉課 | 遠隔手話サービス等説明会 |
| 8 | 令和3年 1月19日 | 全国消費生活相談員協会 | 消費者教育・相談支援（書面会議） |
| 9 | 令和3年 1月27日 | 岡山県立岡山聾学校 | 卒業時移行支援会議 |

(3) 文化講演会の実施

- ① 開催日時：令和2年8月22日（土）
- ② 開催場所：きらめきプラザ 301会議室
- ③ 内 容：演題「岡山城下町の文化サロン- 豪商河本家を中心に -」
講師 岡山県記録資料館 名誉館長 定兼 学 氏
- ④ 参加者 : 42名

1 3. 聴覚障害者生活支援グッズの貸出

(1) 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助を助長するため、生活応援グッズを貸し出すことにより、聴覚障害者の日常生活の円滑化を図り、聴覚障害者の福祉増進を図る。

(2) 年間の貸出状況（貸出人数 12人、利用件数 17件）

1 4. 岡山県青少年総合相談センター事例研修会

(1) 目的

きらめきプラザ内の各相談機関の連携並びに相談員の資質向上を図る。

(2) 実施状況（開催回数 8回、参加者数 8人）

15. 全国聴覚障害者情報提供施設協議会関係事業への協力

(1) 目的

全国聴覚障害者情報提供施設協議会への協力の一環として、職員の専門委員会への就任、全国レベルの研修会の開催など、事業の円滑な推進に貢献する。

(2) 手話通訳事業に関する専門委員会への出席

| 回 | 開催日 | 開催場所 |
|-----|---------------|--------|
| 第1回 | 令和2年9月7日(月) | リモート会議 |
| 第2回 | 令和2年10月29日(木) | リモート会議 |
| 第3回 | 令和3年2月25日(木) | リモート会議 |

(3) 「電話リレーサービスセンター（仮称）」に係るオンライン意見交換会席

- ・開催日：令和2年8月20日（木）オンライン会議
- ・内容：電話リレーサービスセンター（仮称）」に係る意見交換
- ・参加者：1名

(4) 「ICT専門会準備チーム」に係るオンライン会議

- ・開催日：令和3年2月8日（月）
- ・内容：ICT専門会準備チーム員の選出
- ・参加者：1名

16. 研修会への参加

(1) 目的

センター事業の円滑な実施のため、職員の資質の向上を目指す。

(2) 岡山県手話通訳士協会主催公開講座「遠隔手話通訳について」

- ・開催日：令和2年8月23日
- ・場所：きらめきプラザ401会議室
- ・内容：遠隔手話通訳について

(3) 手話通訳者養成担当講師ブロック研修会

- ・開催日：令和2年12月19日
- ・場所：岡山県聴覚障害者センター（オンラインでの参加）
- ・内容：読取り通訳・聞取り通訳

(4) 手話通訳士試験合格者フォローアップ講座

- ・開催日：令和2年10月31日～11月1日
令和2年12月19日～12月20日
- ・場所：岡山県聴覚障害者センター（オンラインでの参加）
- ・内容：読取り通訳・聞取り通訳

(5) 手話奉仕員養成担当講師連続講座「講義編」

- ・開催日：令和3年3月1日～3月21日
- ・場所：オンライン形式

- ・内 容：オンライン形式による講義映像の視聴、レポートの提出
- (6) 手話奉仕員養成担当講師連続講座「実技編」
 - ・開催日：令和3年2月1日～3月31日
 - ・場 所：オンライン形式
 - ・内 容：オンライン形式による講義映像の視聴
- (7) ユニバーサルデザインセミナー
 - ・開催日：令和3年2月4日
 - ・場 所：きらめきプラザ401会議室
 - ・内 容：ユニバーサルマナーセミナー ～聴覚障害と情報バリア～

1.7. 指定管理者運営委員会の開催

平成17年のセンター設置以来、センターの適正な運営を図るため、岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県難聴者協会からそれぞれ選出された7名の委員で岡山県聴覚障害者センター指定管理運営委員会を構成し、センターの運営について協議する。

◇指定管理者運営委員会の開催実施 6回

岡山県聴覚障害者センター管理運営事業（公7）実施のための財源は、上記の1から17までの事業は岡山県聴覚障害者センターの運営に係る岡山県からの指定管理料、受講料等を充当した。

1.8. 電話リレーサービス提供事業

厚生労働省の高度情報通信等福祉事業の電話リレーサービス提供事業を受け、全国の聴覚障害者情報提供施設のうち、7施設で拠点的に実施し、聴覚障害者の福祉の向上に努める。

(1) 目的

聴覚障害者が必要に応じて健聴者と電話できるように、通訳者が間に入って通訳するサービスの提供体制を作ることで、聴覚障害者の福祉の促進及び地域生活における自立が高まることを目的とする。

(2) 年間の利用状況

・文字 5, 830件、手話 4, 244件 合計 9, 074件

事業実施のための財源は、厚労省の「高度情報通信等福祉事業」の国庫補助金を充当した。

II 収益事業

(1) 出版物販売（収1）

一般財団法人全日本ろうあ連盟から販売されている書籍等及び公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が独自作成した書籍等を事務所で常時販売し、公益社団法人岡山県聴覚障害者主催の社員総会やふれあい手話まつり及び岡山県手話通訳問題研究集会や耳の日の集いの共催事業時に販売を行った。

(2) その他の収益事業

① コピー機器の使用料

各種イベントで使われる拡大コピー機の印刷の使用料の徴収を行った。

② 事務手数料の徴収

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の支部行事や会員がスポーツ大会に参加する際の事務手続きのための手数料を徴収した。

その他

(1) 保健体育に関する事業（収2）

聴覚障害者の心身の健康とスポーツ活動の推進を図るため、体育部の中に各種運動部を設け、全国・中国地区・岡山県等のスポーツ大会に選手派遣するとともに、各種委員会に出席した。

| 日 程 | 内 容 | 会 場 |
|---------------------|---|------|
| 4月25日 5月10日, 30日 | 第20回岡山県障害者スポーツ大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 岡山県 |
| 5月16日～17日 | 第12回中国・四国地区ろうあ者体育大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) 第20回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール 競技中国・四国地区予選会 | 徳島県 |
| 9月19日～22日 | 第54回全国ろうあ者体育大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 九州分散 |
| 10月24日～26日 | 第20回全国障害者スポーツ大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 鹿児島県 |

(2) 全国手話検定試験実施

令和3年2月27日～28日 第15回全国手話検定試験 岡山市
試験 5級・4級・3級・2級

(3) 聴覚障害者の福利厚生に関する事業

| 日 程 | 内 容 | 会 場 |
|--------|---|-----|
| 6月21日 | 第9回公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会社員総会 | 岡山市 |
| 10月18日 | 手話言語フォーラム in 岡山 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 倉敷市 |
| 10月25日 | 第16回岡山県高齢者のつどい | 岡山市 |
| 11月15日 | 第36回県民ふれあい手話まつり | 岡山市 |
| 令和3年3月 | 耳の日の集い (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 岡山市 |

(4) 関係官庁及び関係団体との連絡と協力に関する事業

ア. 岡山県・岡山県身体障害者福祉連合会等の会議への出席

イ. 全日本ろうあ連盟関係その他の各種行事、研修会等への派遣実施

| 日 程 | 内 容 | 会 場 |
|------------|---|-----|
| 6月11日～14日 | 第68回全国ろうあ者大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 愛知県 |
| 9月10日～11日 | 第31回全国専従職員研修会 出版物対策研究会議 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 未 定 |
| 9月25日～27日 | 第32回全国ろうあ高齢者大会 第34回全国ろうあ高齢者ゲートボール競技大会 第11回全国ろうあ高齢者グラウンド・ゴルフ大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 青森県 |
| 10月23日～25日 | 第50回全国ろうあ女性集会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 京都府 |
| 11月21日～23日 | 第54回全国ろうあ青年研究討論会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 埼玉県 |
| 11月6日～7日 | 第34回全国ろうあ者相談研修会・ 第25回全国職業安定所手話協力員等研修会 兼ろうあ者労働問題フォーラム (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 山梨県 |

(5) 中国地区ろうあ連盟関係の各種行事や研修会への派遣

| 日 程 | 内 容 | 会 場 |
|--------------|---|-----|
| 10月31日～11月1日 | 第28回中国地区合同手話研修会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 山口県 |
| 7月18日～19日 | 第43回中国地区ろうあ女性集会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 島根県 |

| | | |
|--------------|--|-----|
| 未定 | 第26回中国地区ろう文化学習会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 未定 |
| 11月 日～11月 日 | 中国地区ろうあ連盟秋の集い (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 鳥取県 |
| 10月31日～11月1日 | 第34回中国地区ろうあ高齢者大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 鳥取県 |

(6) 手話関係団体との連携・協力

岡山県手話通訳問題研究会と岡山県手話通訳士協会との連携を深めるため、連絡・会議・研修会を開催した。

ア. 三団体代表者会議 月1回開催

イ. 聴覚障害者の参政権をすすめる会

ウ. 手話放送委員会

エ. 手話言語法対策推進委員会

オ. 各種行事の連絡会議、研修会

県内の手話サークル会員・手話通訳者・聴覚障害者が一堂に集まり、手話・聴覚障害者問題について研究・意見交換を行い、お互いの資質向上を図った。

【開催実施】

| 日 程 | 内 容 | 会 場 |
|-----------|---|-----|
| 7月19日 | 第35回岡山県手話通訳問題研究集会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 岡山市 |
| 8月21日～23日 | 第53回全国手話通訳問題研究集会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止) | 石川県 |

(7) 聴覚障害者関係団体との連携・協力

岡山県手話通訳士協会、岡山県手話通訳問題研究会、公益社団法人岡山県難聴者協会、岡山県要約筆記団体連絡会、岡山県聴覚障害者親の会、岡山県立岡山聾学校同窓会、岡山県立岡山聾学校PTA等との連携を深めるため、会議を開催した。

ア. 聴覚障害者の参政権をすすめる会

イ. 手話言語法対策推進委員会

ウ. 岡山県聴覚障害者福祉協会災害対策本部

エ. 岡山県聴覚障害者相談員連絡協議会

(8) その他、目的達成に必要なと認める事業

- ① 岡山県保健福祉部障害福祉課と随時意見交換を行い、お互いの意志疎通を図ると共に、福祉制度の充実を目指した。
- ② 各専門部と各支部の自主的な活動及び運営への援助を行った。

ア. 各専門部の自主的活動及び運営への援助

本協会組織の中に、組織部・手話対策部・福祉対策部・文化部・機関紙部があり、それぞれの事業を援助。

イ. 各支部の自主的活動及び運営への援助

7支部（岡山・倉敷・玉野・井原・浅口・東備・美作）があり、必要に応じて各支部の事業を援助した。

③ 理事業

総会・三団体会議・理事会・各専門委員会等を開催し、本協会の運営と事業の推進を図った。

ア. 総会

イ. 三役会議

ウ. 理事会

エ. 各種専門委員会